

社会福祉法人百八会 地域交流紙

さくら 樹

新春号

Vol.56



表紙：百歳のお誕生日を迎えられた入居者様

新年のごあいさつ

シルバーピアさくら樹 施設長 河内 悟



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、譲位による皇位継承が行われ第126代天皇が即位なされ、元号法に基づき元号が「平成」から「令和」に改元となる5月1日及び10月22日はこの年に限って国民の祝日となったことは記憶に新しいと思います。また、全国的に暗いニュースが多かった中、「スマイルシンデレラ」渋谷日向子さんが全英女子オープンで海外制覇（優勝）を42年ぶりに果たし、全国で大きな声援が送られました。そして、熊本でも開催されました、ラグビーワールドカップにおいても「ONE TEAM」が新語・流行語大賞の年間大賞を受賞し話題になりました。

さて、今年の干支は子、子年は新しい運気のサイクルの始まりです。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせます。また、ねずみは「ねずみ算」という言葉があるほど、子どもをどんどん産んで数を増やしていくことから「子孫繁栄」の象徴でもあります。株式市場にも「子年は繁栄」という格言があり、株価が上昇する傾向にあると言われています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックによる経済効果を考えると、その格言もあながち間違いではなさそうです。

最後になりましたが、当施設と致しましては本年も信頼のおける地域福祉の向上と質の高いサービスの提供を目指し、職員一同邁進して参りますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

桜木東校区の餅つき大会に参加させていただきました



令和元年 12 月 22 日(日)、雨が降るあいにくの天候の中、桜木東校区の餅つきに初めて参加しました。

地域の人たちが薪で火をおこし、約 50 キロのもち米を軟らかくのびるまで捏ねて、二人一組になってつき始めました。最初は元気があり楽しくつくことが出来ましたが、だんだん時間が経つにつれて杵を持つ腕が「パンパン」に張ってきて、最後は「よいしょ、よいしょ」とお互いに大きい声を掛けながら気合を入れてつきました。

前の職場でも年末行事で餅つき大会があり、杵でつくのは何回も経験したことがありましたが、今回は約 2 時間半…こんなに長く餅をついたのは初めての経験でした。

地域の人たちと触れ合いながらとても楽しい餅つきとなりました。機会があったら来年も参加したいと思います。

(事務部 営繕担当 齋藤 和典)

社会福祉法人百八会 ボランティア交流会開催



毎年恒例の記念撮影でお開き

昨年 11 月、登録ボランティア様をお招きして交流会を開催しました。今回は総勢 30 名の参加があり、外出や行事で活動をおられる熊谷様にボランティア代表の挨拶をしていただき開宴しました。ボランティア同士で情報交換など行われ、有意義な時間を共有できたと思います。ご参加の皆様、ありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

(通所介護事業所 介護福祉士 河野智子)

第2回さくら樹フェスタ ご来場ありがとうございます！



10月27日(日)に第2回さくら樹フェスタを開催し約360名のご来場がありました。

河内施設長の挨拶から始まり、桜木中学校吹奏楽部の皆さんの演奏、入居の皆様による楽しい花笠音頭で盛り上げていただき、初企画のハロウィンコスプレファッションショーにはたくさんの地域の方に参加していただきました。

開催にあたり、駐車場やボランティアなど各方面で多くの方のご協力があり無事終了することができました。誠にありがとうございました。

(フェスタ実行委員会 副委員長 貝島智治)

研修会の講師を務めました



熊本市社会福祉協議会東区事務所より講師の依頼を受け、11月28日に秋津まちづくりセンターにて開催された「令和元年度ふれあい・いきいきサロン研修会」に島田介護福祉士と行ってきました。

研修参加者はサロン運営者および関係者50人程で、始めに健康寿命について簡単に話をした後、サロンで使える体操と頭の体操(脳トレ)を担当して研修を行いました。質疑応答も活発に行われ、サロン運営に対する熱心さが感じられました。日頃と違った環境(デイご利用者ではない方々の前)で実施する体操や脳トレはかなり緊張しましたが、とても勉強になりました。

(通所介護事業所 介護主任 藤川啓祐)



特養さくら樹日記

家族会開催 (11/8)



松ヶ迫先生の講話の様子

水前寺とうや病院の松ヶ迫先生に「健康年齢を長く保つためには」というテーマで講話していただきました。入居者様をサポートされるご家族様が元気であることが一番なので、そのためには「食」「睡眠」「運動」の生活習慣が大事とのことでした。特に食に関して「腸に住むもう一人の自分」ということで腸内細菌に関するお話には深く頷いておられました。11 名のご家族様が参加されましたが、多くの質問が出て健康に対する関心が高いことがわかりました。
(部長 福島ミキ子)

RUN 伴に参加 (11/9)



健軍の「おーさあ」を出発!

晴天の中、おそろいのオレンジの T シャツを身にまとい入居者 5 名・スタッフ 7 名で「RUN 伴(認知症啓発イベント)」に参加しました。健軍商店街は以前から親しみのある所ということもあり、応援にこられたご家族や昔馴染みのお店の方と昔話に花が咲く場面もみられました。他事業所の参加者へ無事にタスキを繋いだ後は、商店街で買い物を楽しみ、笑顔いっぱいでも意義な時間を過ごすことができました。

(介護福祉士 中川やよい)

鏡餅づくり (12/30)



年末恒例の鏡餅作りを行いました。餅米の炊けるいい匂いの中、徐々に入居者様が集まり、最初にあんこを丸めました。出来たての餅に「おおお」という声。職員が「熱! 熱! 熱!!!」と言いながらちぎる横で、入居者様は平気な顔で餅を丸めていて、これぞ“昔取った杵柄”と感心しました。今年の鏡餅はお椀を使って形を整える作戦を実行した結果、まん丸でこんもりとした鏡餅が完成しました。餅とり粉で顔や服を白くしながら昔話に花が咲き、皆様と賑やかに正月準備を楽しみました。
(機能訓練指導員 桑田 薫)

さくら樹デイサービス日記



桜木東小 3 年生が来設(10/24)

桜木東小学校から 13 名が「ユニバーサルデザイン」の勉強で施設見学に来られました。施設内は、点字ブロックや段差がないバリアフリー等、誰でも使いやすい工夫がされているのを実際に体験し、興味深く見学されていました。見学後はデイサービスご利用者との交流、小学生からは歌の披露もあり私たち職員も含め楽しい時間を過ごす事ができました。

小学生の皆さんが今回の見学をきっかけに、町やスーパー等にもユニバーサルデザインの工夫がされている所を発見し、少しでも福祉の分野に興味や関心を持って頂けたら嬉しいです。



リース&しめ飾りづくり(12/14・16)



作成中の様子(上)と
出来上がったリース(左)

アトリエ Yurika 様のご協力で、「クリスマスリース」「しめ飾り」を作りました。普段の作品づくり以上に集中し、真剣に目を輝かせながら取り組まれていました。力のいる工程もありましたが、皆様頑張って完成する事ができました。完成した作品はお店に売ってあるものと比べても遜色なく、とてもお洒落で良いものが出来上がっています。さっそくご自宅に飾られたそうで「お正月が楽しみ…」と大満足のご様子でした。

文：相談員/金田 貴

面会制限とボランティア活動制限について(おねがい)

インフルエンザが流行する季節となりました。当施設では入居中の方やデイサービスご利用者を感染からお守りするため、昨年 12 月 26 日から面会制限およびボランティアの受け入れ制限を実施しております。関係者の皆様にはインフルエンザの流行が終息するまで当分の間、ご不便をおかけして申し訳ありませんが、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。(感染防止委員会)

- ・面会のご家族(キーパーソン)のみです。不要不急の面会は控えてください。
- ・面会はできるだけ短時間に抑えてください。
- ・面会は居室(個室)で行ってください。
- ・面会は受付で熱をはかり、手指消毒のあとマスクと許可証を身に付け入室してください。



桜木東校区 2 町内自治会は災害避難訓練を実施しました

熊本地震から 3 年が過ぎ、あの恐怖を忘れかけている昨今です。
日本では西日本豪雨による大災害、台風 15 号・19 号による東日本大災害の被害をテレビ報道で見る度に涙し、胸を痛める今日です。
2 町内では「水・火・風」の災害から「身を守る」ために 2 町内自治会主催、シルバーピアさくら樹と市社協共催で、令和元年 11 月 17 日(日)災害避難訓練をしました。

(文：桜木東校区 2 町内自治会 会長/福本廣人)



- 桜木東校区の災害避難場所は…桜木東小学校、桜木中学校ですが、2 町内は**シルバーピアさくら樹と避難所の契約を締結**しています。

- 今回は災害避難場所をシルバーピアさくら樹に設定しました。

①桜木東広場(旧沼山津)=53 名

②ソレイユヴィラさどわら公園=37 名、

③佐土原 3 丁目桜木東公園=35 名が 10 時に集合して避難者名簿を作成し、3 つの公園から皆さんが無事に避難所に避難しました。

- 避難所では、①主催者の挨拶・施設長の挨拶 ②アルファ米の作り方 ③災害避難訓練の心得講話 ④救急蘇生法の実演講習・AED 使用講習 ⑤アルファ米の試食(試食訓練) ⑥抽選会 ⑦「ふるさと」を合唱、皆さんが「自助」「共助」「公助」を確認し、楽しく解散しました。



うれしいクリスマスプレゼントをいただきました！



TRY!
TRY!



市社協から届いたケーキ



歌をプレゼントしてくださった
佐藤市長

12 月 25 日(水)、クリスマス当日に熊本市社会福祉協議会から可愛いサンタクロースの飾りがついたクリスマスケーキ 50 個をいただきました。同日行われたケーキ贈呈式には市社協の潮谷愛一会長もお越しになって挨拶されました。

午後は、100 歳を迎えた入居者様の表彰のために阿蘇市の佐藤義興市長が来設されました。佐藤市長といえば成人式での熱唱が有名です。職員たちが無理にお願いしたところ、初めは遠慮されていた佐藤市長でしたが、WANIMA の「やってみよう」を元気よく歌唱してくださいました。一瞬、市長がサンタさんに見えました。

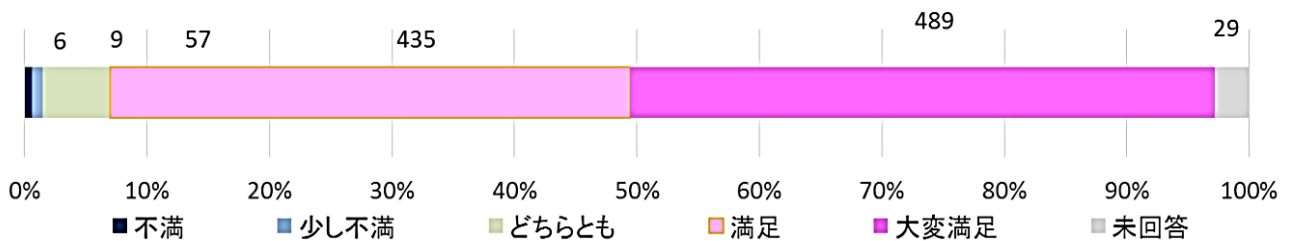
2019 年度 CS 満足度アンケート調査 結果報告

シルバーピアさくら樹(CS 委員会)は昨年 10 月、当施設の各種サービスを利用される皆さま方に職員の接遇及び設備環境について評価していただくことにより、ご利用者・ご家族の皆さまの満足度を改善することを目的にアンケート調査を実施いたしました。お陰様で 128 件(男性 26 名、女性 102 名)の貴重なご意見を頂くことが出来ました。ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。簡単ではございますが、ここにアンケート結果をお知らせいたします。

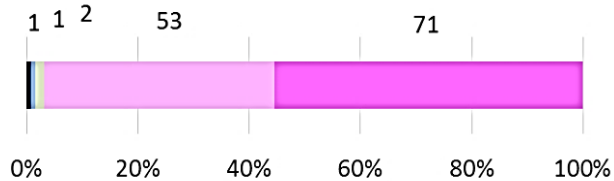
お寄せいただきましたご意見には当施設職員に対して温かいお言葉が数多くあり、職員一同たいへん励みになっております。またご要望につきましては今後の業務の改善を通して、利用者の皆さまにご満足いただけるよう誠心誠意対応をしてまいります。

※回答は設問全てにおいて「不満」「少し不満」「どちらとも言えない」「満足」「大変満足」から 1 つ選択する方法です。

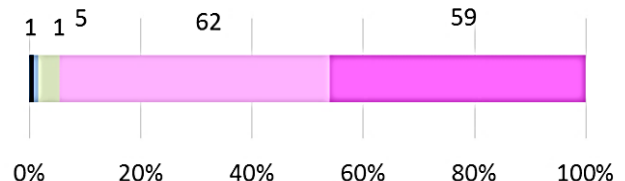
さくら樹全体のサービス満足度について ※全設問の合計



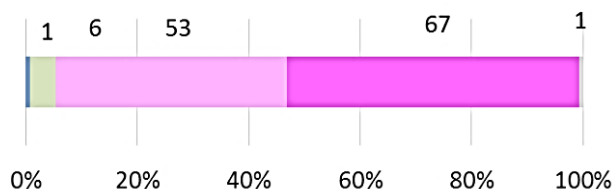
明るい態度できちんと挨拶している



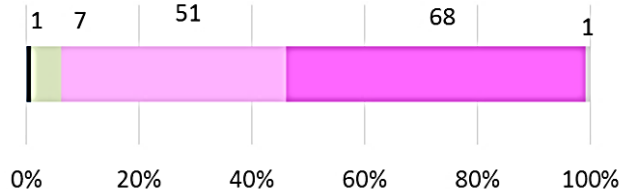
身だしなみ(髪や服装など)に清潔感がある



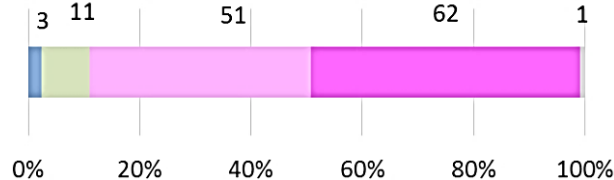
意見や要望に迅速に対応している



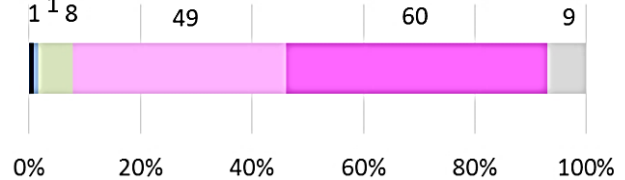
気軽に相談でき、説明もきちんとしてくれる



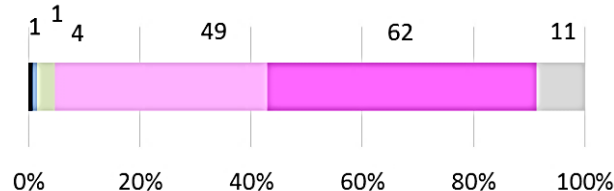
知識や経験が豊富で信頼できる



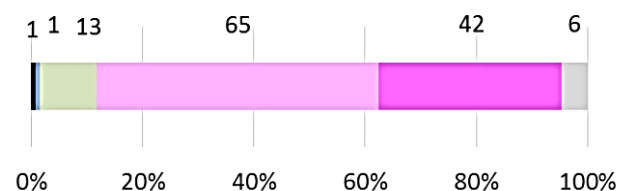
健康状態が変化した時やケガ等の事故が発生した時の対応・連絡について



施設内の清潔さについて



広報紙の分かりやすさや見やすさについて



社会福祉法人百八会



○特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹

/施設長：河内 悟

住所：熊本市東区佐土原 3 丁目 1 2 - 2 6

電話：096-365-5533 FAX：096-365-6191



○短期入所生活介護事業所

☎ 096-365-5533

○通所介護事業所

☎ 096-243-3900

○訪問介護事業所

☎ 096-365-7600

○居宅介護支援事業所

☎ 096-365-5600

医療法人清和会



○水前寺 とよう病院 ☎096-384-2288

○老人保健施設シルバーピア水前寺 ☎096-384-3399

・訪問リハビリテーション事業所 ☎096-384-2288

・通所リハビリテーション事業所 ☎096-384-3399

住所：中央区水前寺 5 丁目 2 - 2 2



○平成とよう病院 ☎096-379-0108

・通所/訪問リハビリテーション事業所

住所：南区出仲間 8 丁目 2 - 15



○特定施設 シルバーピアグランド通り

☎096-386-0020

○在宅ステーション水前寺

・居宅介護支援事業所 ☎096-384-3119

・訪問介護事業所 ☎096-384-2771

・訪問看護事業所 ☎096-384-5580

・地域交流推進室 ☎096-284-1025

住所：中央区上水前寺 1 丁目 6 - 5

新年あけましておめでとうございませう。昨年4月さくら樹に入職し、社会人初・令和初の正月を無事迎えることができました。日々覚えることが多く、毎日新しいことを学べ、自分自身のスキルアップにつながっています。

入職時の目標として入居者の皆様をはじめ職員の方々とのコミュニケーションを大切にしてきました。入居者様との信頼関係の築き方や仕事をするうえで職員間での報告・連絡・相談の重要性を学べた年でした。

1年目でまだまだ経験が浅くできることが少ないと思いますが、今後は出来ることを増やしつつ、一つひとつを確実に丁寧にやっていくことを今まで以上に努力していきたいと思ひます。また、笑顔が足りないと思ひ自身で思うことが多かったため、プログラムファ-の渋谷日向子さんのように今年に『スマイル』を心がけていきたいです。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域浸透プロジェクト委員会